

こんにちは！

村立東海病院であ



新任医師の紹介 & 肺炎予防のワクチンのお話

新任医師を紹介します！

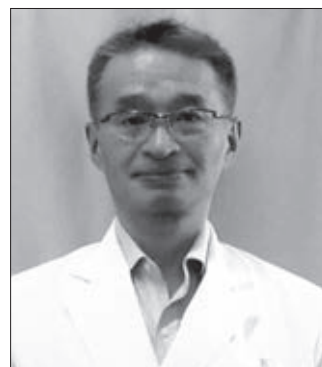
【和田先生から一言】

昨年10月から、伊豆今井浜病院からの応援で水曜外来を担当していましたが、本年4月からは村立東海病院の常勤内科医として赴任しました。

東海村は救急体制が充実した大きな病院が近くにあり、とても医療に恵まれた地域です。病院を上手に利用し、分からないことは遠慮なく聞いてください。今後ともよろしくお願いいたします。

【主な職歴】

国立感染症研究所細菌第一部、日光市民病院(栃木県)、ドラマ「Dr.コトー診療所」のロケが行われた与那国町診療所(沖縄県)、志摩病院(三重県)、米原診療所(滋賀県)、伊豆今井浜病院(静岡県)に勤務。



内科医師 **和田 昭仁**

愛媛県松山市出身。58歳。
東京大学大学院第三基礎医学修了。医学博士。

肺炎予防のワクチンを接種しましょう！



【ワクチンの接種で、肺炎を防ぐことができます】

近年、日本人全年齢人口の死亡原因の第3位を占め、特に多くの高齢者の死亡原因となっている「肺炎」。肺炎はさまざまな原因によって引き起こされますが、中でも肺炎球菌によるものは、全肺炎の4分の1から3分の1を占めると考えられています。

肺炎球菌は、病原性のとても強い菌です。肺炎球菌にはさまざまな型があるため、一度肺炎球菌に感染しても、その後に再感染を防ぐ免疫を獲得することは期待できません。そのため、ワクチンを接種することが大切です。

【高齢者の肺炎防止に効果があるワクチン「PPSV23」】

肺炎球菌による感染症防止のために、複数のワクチンが開発されています。

小児に対しては、ワクチンが定期接種化されたことにより、現在、ワクチンに含まれる血清型の肺炎球菌による小児の侵襲性感染(血液や髄液から肺炎球菌が検出されるような感染)の罹患率は劇的に減ってきています。

高齢者に対しては、「PPSV23」というワクチンに肺炎防止効果があることが示されました。平成26年秋から65歳以上の方に対して定期接種化されましたが、接種の対象となる方は5歳刻みの方に限られています。

【肺炎にかからないためには】

高齢者にとって、PPSV23に加え、インフルエンザワクチンを毎年接種することは大切なことです。また、きちんと食事を取ることや規則正しい生活をする、体を動かすこと、禁煙も大切です。

【問い合わせ】村立東海病院(☎282-2188)、福祉総務課地域医療担当(☎287-0848)